

…10点」「できているところもあるけど、まだまだ…5点」「まだ、あんまりできてない…0点」これは、単に計算がすぐできるようにするためです。この評価で全員に手を挙げさせます。私の場合、クラス40人ですから、満点で400点です。400点満点中〇〇点という到達度になります。この活動は2学期の始め、これから学級でどんなことに取り組んでいくのかという話し合いの中で活かしていくことになります。

(2) 自分や友だちのがんばりやよさを認め合う場をつくろう

学級全体の振り返りとともに、学期の終わりに行いたいのは、自分の1学期の頑張りを認め、学級の仲間から認められているという自尊感情を高めてやることです。これによって、たとえ通知表の評定は思うように伸びてなくても、自分の頑張りは認められているという肯定感を持たせることができるからです。そこで、一つアイデアを提案します。終業式の学活の時間に「がんばったね ありがとう感謝式」を行うのです。これは、事前に学級活動の時間を利用して、1学期の友だちのがんばりや係の頑張りを感謝状の形で書かせ、それを終業式当日に渡すというものです。学級の全員が感謝状をもらえるように配慮し、楽しい感謝状を書かせます。それを担任が回収し、通知表を渡すときに感謝状を読み上げて一緒に渡します。感謝状をもらった子どもは、みんなの前でもらった感想と自分の一学期がんばったことをみんなの前で発表して拍手をもらいます。構成的グループエンカウンターの中のエクササイズには、「別れの花束」という卒業式前に学級の友だちから今までの感謝を書いて、花束にして送るという有名なエクササイズがありますが、そのようなエクササイズをアレンジしてやってみるのもおもしろいと思います。

学期の終わりをみんなが肯定的に、和やかな雰囲気のまま終われることが一番だと感じています。しかし、それは、実は私自身の課題でもあります。最後の最後までいつも怒っているから…。みなさんは私にならないよう、しっかり計画立てて最後の日に臨みましょう！

2 7月の学級活動

山口市立平川小学校 梶田崇晴

7月ということで、1学期の振り返りを行うということで、これまでやってきたことなどをまとめてみたいと思います。

ここでは、子どもたちの成長段階を見極め、自分たちなりに成長してきたことを実感させるような活動を行うことが大切だと思っています。そのためには、子どもたちが自分たちのめざす学級のイメージを持っているかがポイントになります。そこで、「学級目標の達成度」「係活動の振り返り」「学期末の集会」についてまとめ

てみます。

学級目標の達成度について****

その1 学級目標に向かってどのような活動ができたのかを評価させます。私の場合は項目ごとに自由記述式で書かせていました。個人的な取組みだけでなく、学級としての取組みも書かせるといいですね。

その2 それをもとに、学級目標にどこまで近づいたかを点数化させます。平野先生の場合は3段階評価でしたが、私の場合、「達成できた」を100点として、今、何点くらいかを判断させるようにしていました。

※これらの資料をとっておくことで、2学期始めの学級づくりに活かしていきました。

係活動について****

係活動については「組織」「内容・方法」「環境」について振り返りを行うとよいと思います。それぞれについて、振り返りのポイントをまとめてみます。

【「組織」の振り返りのポイント】

- ・係の中で協力して活動ができたか。
- ・特定の児童が活躍する組織になっていなかったか。

【「内容・方法」の振り返りのポイント】

- ・学級目標達成のための活動ができていたか。
- ・計画立案の方法や内容に無理がなかったか。
- ・単なるお手伝いだけの活動になっていなかったか。

【「環境」の振り返りのポイント】

- ・活動に必要な物や時間や場所が十分にあったか。
- ・係の中の人間関係がスムーズにいったか。

学期末の集会について****

この時期になると、「お楽しみ会」と称する集会が行われることが多いですね。このことについて、さいたま市の今村氏（「希望の会」代表）は、『お互いが出会ったばかりで具体的な学級のイメージがもちにくい時、理屈抜きで楽しめるお楽しみ集会は、その時期に適している』と述べておられます（特活研究2001年7月号）。

私もそのことに賛成で、学期末には単純に楽しむだけでなく、学期の振り返りができる内容を含めた集会を企画できたらいいなと思っています。

例えば、係のがんばりを紹介し合う

学級での出来事を劇などで表現する

みんなのがんばりを学級の宝物として認定する

前述の平野先生のブログに、学期最後のお楽しみ会で話し合われたことが紹介され

ています。ぜひ、読んでみてください。

<http://edublog.jp/hirano/archive/545>

3 学級通信を考える～その19：評価の観点

山口市立平川小学校 梶田崇晴

みなさんのところの通知表はどのような形式になっていますか？

私のところの通知表は、左側に学習の評価欄があり、各教科が要録と同じように4段階に分けてあり、それぞれに対して「よくできる」「できる」「もう少し」という3段階で評価するようになっています。評定の欄はありません。

さて、問題はその評価のところに書かれている文言です。狭い枠の中に短い文で書かれていますので、とっても抽象的な表現になっています。私自身、以前は別に何とも思っていなかったのですが、うちの長男が小学校に入って初めて通知表をもらってきた時、いったい何が評価されているのか、その観点がさっぱり分からないなあと思ったのを覚えています。その時、「親も子どもも、何が評価されているかという観点が分からないから『〇がいくつあるか』だけで判断するんだろうな」と思いました。そういう見方をしているものですから、通知表の結果が、例えば自分の弱点克服につながらないのでしょう。

そう思って以来、通知表を補足する意味で、学級通信に教科ごとの評価の観点を書くことにしました。

過去に書いたものから「国語」について紹介します。

【国語】

関心：*国語に関心をもって取り組む（自学での漢字の練習や分からない語句の意味調べなど）*音読練習への取り組み*作文に対する態度*国語の時間の学習態度

話す・聞く：*要点を押さえて、分かりやすく話す*メモなどを利用して簡潔に話す*自分の立場をはっきりさせる話合いをする（ディベートなど）*話をしていて人を見ながら聞く*話し手の言いたいことを考えながら聞く

書く：*書きたいことをはっきりさせて書く（心のメモ）*多様な表現を使う*調べたことを正しく書く

読む：*情景や人物の心情を読み取る*筆者が訴えようとしていることを文章から読み取る*段落の要点をまとめる

言語：*新しく習った漢字や読みかえの漢字を正しく読み書きする*強調する言葉の働きがわかる*修飾語の関係がわかる*文の骨組みを作る言葉がわかる（助詞）*慣用的な表現を正しく使うことができる

書写：*習字*ノート等に丁寧に字を書く

H15年 学級通信「ハッピー・オンリー・ワン」No68 より

3 メルマガ編集部からのお知らせ

◆次号の予告◆◇◆

第38号は7月中旬ごろ発行予定です。

次号は、今回に引き続き、旬の情報として南山大学院生の國武さんから送ってもらった「夏休み直前のふりかえり」について紹介します。

◆山口学級活動ネットワーク メールマガジンの登録について◆◇◆

現在の購読者は166名です。もっともっとメルマガ仲間が増えるといいなと思っています。お知り合いの方にこのメルマガを紹介してください。

登録については、山口学級活動ネットワークのホームページをご参照ください。

url: <http://www.yamakoshu.org/gakkatu-net/>

◆実践投稿のお願い◆◇◆

読者のみなさん、みなさんが取り組まれている情報を送ってください。特活の実践を広げ、共有していきましょう。

もうすぐ夏休みです。子どもたちともしばしの別れ。そこで、「夏休み中、子どもたちとのつながりを考える」ということについて情報交換したいと思っています。先生方が取り組んでおられるミニ実践を紹介してください。

本メールマガジンでは、今後、以下のようなことについての情報を交流し合いたいと考えています。どんな小さな事でもけっこうです。情報をお待ちしています。

<実践投稿のヒント>

- 8月頃 子どもとのつながりを考える
- 9月頃 2学期スタートの学級経営・運動会と学級をつなぐ取組み
- 10月頃 意欲的に行事に取り組む手だて
- 11月頃 学級目標の見直し・音楽会と学級づくり
- 12月頃 お楽しみ会の在り方・年賀状と学級づくり
- 1月頃 新年の誓い・新たな気持ちを学級づくりに生かす
- 2月頃 文集づくり・6年生を送る会のシナリオ
- 3月頃 お別れ式の持ち方・先生の通知票

以下のアドレスまでよろしくお願ひします。

sugi-net@c-able.ne.jp

=====
山口学級活動ネットワーク メールマガジン
☆ご感想・ご意見はsugi-net@c-able.ne.jpまで
☆編集・発行 山口学級活動ネットワーク メールマガジン編集部
梶田崇晴（山口市立平川小） 津村元文（防府市立西浦小）
能勢雅子（山陽小野田市立高千帆小） 吉田哲朗（山口大学附属山口小）
=====